

新年特集

笑顔のふるさと 仲間と守る地域農業



のまま地域の財産を失うわけにはいかない」という地域住民の強い思いから保全活動は広がりを見せています。

棚田オーナー制度を開始

ワークシヨップで出た意見に棚田オーナー制度がありました。田植えや稲刈りなどの農業体験をもらう企画です。昨年は県内外から12組の参加がありました。同協議会の九野賢輔会長は、「渡航経費を使つてまで来てくれることに感謝しています。若い女性が農業機械をぜひ使いたいと言ってくれるなど、大変なにぎわいになりました」と手応えを感じています。

オーナーには収穫したお米を支給する他、地域行事に優先的に参加できる特典も用意しました。地域には、「虫送り」や「中山農村歌舞伎」という伝統行事があります。虫送りは、「火手」と呼ばれるたいまつを田にかざしながらあぜ道を歩き、害虫を

駆除して稲の豊作を祈願します。昨年は700人余りの参加がありました。約300年の歴史を有する中山農村歌舞伎は、茅葺屋根の舞台や衣装を修復しながら今に伝承しています。オーナーも、衣装やかつらを着け、見事な演技を披露しました。

公社設立に向けて

地域住民主体の保全活動には限界があり、行政も保全に向けた対策に乗り出しました。棚田公社を設立し、棚田全体を管理する体制作りを検討しています。自治会、土地所有者、水利組合などと協力し、組織的な管理を目指しています。

小豆島町農林水産課の近藤伸一課長は「地域資源利用のために、観光ルートや看板の整備を行ったり、棚田米をブランド化して販売したりと、展望を見据えています。再来年度での設立を目指しています」と話します。



斜面に積み上げられた石積み



伝統の虫送り



中山農村歌舞伎



棚田オーナーによる田植え、稲刈り体験

新年特集 笑顔のふるさと 仲間と守る 地域農業

香川県内の約4割を占める中山間地。傾斜地や狭小な棚田は大規模化から取り残され、農業者の高齢化による離農や耕作放棄も加わって荒廃が進んでいるのが現状です。この逆境の中、農家はアイデアを出し合い、今までに培ってきた粘り強い精神と技術、この土地で暮らしてきた知恵を結集して地域を守っています。奮闘する農業者たちを紹介します。



農閑期には獣害対策のフェンスを設置するなど、休みなく活動する協議会メンバー（写真後列右が九野会長）

日本の棚田百選の一つ「中山千枚田」。高齢化と担い手不足から千枚田の3割が耕作放棄地となり、貴重な原風景の将来が危惧されています。

平成24年8月から、専門家を招いたワークシヨップを開催し、中山地区住民自らが棚田の実態把握や地域の課題などを話し合いました。他県へ視察に行くな

後世に景観をつなぐ

中山千枚田は、標高150〜250㍎の間の山肌沿いに11・8㍎、758枚の棚田が連なっています。その起源は、南北朝時代で江戸時代中期に完成したと言われています。耕地一筆当たりの面積は1・5㍎と非常に狭く、山間の斜面にはりついたような圃場は崩れやすいため石積みをとて大切にしています。

昭和50年以降、耕作管理されている田は減少。荒廃した田には木が根を張ったり、イノシシなどの被害にあったりで、石積みが崩れてきています。この石積みができる職人も数えるほどに減っているのが現状です。

放棄地の増加は、景観を損なうことにつながります。「こ

伝 続ある中山千枚田 景観維持に尽力 小豆島町中山棚田協議会

ど精力的に活動し、保全活動を目的とした「小豆島町中山棚田協議会」（会員16人）を平成25年6月に設立しました。

【部会紹介】

ライスセンター部会

乾燥機3基の運転管理部門。地域以外からの依頼にも応えています。

産地直売部会

エコファーマー認定のブランド米「こみの米」を、販売していく部門です。

山南猪肉市場部会

獣害対策でイノシシを捕獲。脂の乗った冬季の個体だけを肉にし、販売しています。

オペレータ部会

田植えや稲刈り作業に携わります。毎年、農作業体験希望者を受け入れています。

農村レストラン部会 なごみの会

第2と第4日曜日に地元産の農作物やイノシシ肉を利用した「山鯨御膳」を提供しています。

グリーンツーリズム部会

夏祭りなどのイベントを計画します。パーベキューやそうめん流しなどイベントの要望にも対応します。

ズイナ栽培部会

ズイナ苗木の育成をしています。観光農園の管理もします。

姑クラブ

第1と第3日曜日に、うどんやすしなどの郷土料理を提供しています。

土建屋チーム

水路や農道など公共場の改修が主で、依頼があれば民家の補修なども請け負います。



ブランド「こみの米」



高冷地野菜で流通するキャベツ



農村レストラン「どんぐりころころ」



作業の後はみんなで昼食を囲む



地域の保全活動

人を呼び、活気呼ぶ

小蓑には、観光地やキャンプ地として整備された「虹の滝」があります。毎年、地域を挙げた夏祭りを開催する中、観光客も加わるようになり、年々、参

販売先は口コミで増えています。県外からの視察も多くなっています。

加者は増えにぎわっています。また、お盆で帰省してくる人の同窓会場としても夏祭りを活用。Uターンのきつかけ作りに役立てています。88歳の農業者は「もうすぐ定年になる息子が組合の活動に参加したいと帰ってきてくれるようになりました」と顔をほころばせます。それぞれが役割を持ち、得意

分野で活動することが、やりがいや人とのつながりを創出しています。阿部組合長は、「知恵を出し合い、助け合うことが組合の目的です。みんなが集まって楽しく活動することが、結果的に健康な日常を送れることになります。ゆくゆくは法人化を視野に入れています」と話します。



「協力せないかん」の意気込みで活動する山南営農組合メンバーたち

昔から自給自足で生活をまかない、豊かな自然環境と清水に恵まれた三木町小蓑地域——。中山間地にあつて高齢化が顕著な中、「自分たちの地域は自分たちで守ろう」と、平成16年、「山南営農組合」が発足しました。ブランド「こみの米」の販売や農村レストランなど、活発な活動をしています。当初から組合長を務める阿部泰人さん（58）は、「ここの財産は、人」と言い切ります。昔から衣食住に必要なほとんどを自分たちで作りしてきた住民は、農業者としての技術と豊富な知識、経験を持っています。「山の人たちは、何

全住民が参加

組合には、非農家7戸を含めた全戸の50戸が加入。8つの部会で活動しています。

「ほとんどボランティアですが、強制しなくても積極的に参加してくれています。経営効率より参加してくれることが大事なんです」

住民から要望のあつた部会設置を認め、その時々で部会の内容や数は変わってきました。一時は居酒屋部会もあったほど自



阿部組合長

も誇れるものが無いと思っていますから、新しいことに取り組みむ一歩がなかなか踏み出せません」。その背中を押す役割を担ってきたのが阿部組合長です。

おもてなしの心

平成21年、農村レストラン「どんぐりころころ」をオープン。獣害対策で捕獲したイノシシ肉をハンバーグにして提供しています。お客さんからは「臭みがなく、おいしい」と高評価です。

農村レストラン部会なごみの会代表の多田俊子さん（69）は「こんな遠い所に足を運んでくれるのはうれしい限りです。温かいもてなしを心掛けています」と笑顔を見せます。

12畝の水田では、エコファーマー認定を受けた23人が、減農薬、有機肥料で米を栽培。傾斜地では、キャベツなどを栽培し、高冷地野菜として流通しています。田植えや稲刈りなど、地域外からの農作業体験希望者を、毎年、受け入れています。

商品の確かさと住民の実直さが相まって、米や加工品などの

由で、みんなが楽しみながら集落のために活動しています。

こんな時にお支払いします

●火災共済



建物外部からの物体の落下・衝突
盗難によるき損・汚損、破裂・爆発など

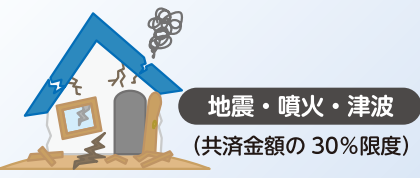
1棟当たり加入限度額

6,000万円

●総合共済

火災共済+

風水害・雪害・土砂崩れなど



1棟当たり加入限度額

2,000万円

火災共済と総合共済合わせて1棟当たり

6,500万円まで加入できます

火災事故に備えて

NOSAIの建物共済

火を扱う機会が多くなり、空気も乾燥しているこの季節、火災が発生しやすくなります。万が一に備えてNOSAIの建物共済「住まいる」に加入しましょう。



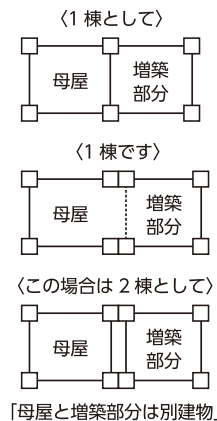
《建物共済Q&A》

◎ 加入できる建物とは？

◎ 住宅、納屋、物置、倉庫、農作業場、畜舎、鶏舎、事務所、店舗、集会場などです。

◎ 建物1棟ごとの契約とは？

◎ 建物1棟とは、柱・外壁・屋根がそれぞれ独立して具備された建物をいいます。外壁を共有している場合は1棟としてご加入ください。



◎ 他保険にも加入しているのですが、両方から支払われるのですか？

◎ 合計の加入金額が評価額以内であれば、共済金はそれぞれの加入先から支払

われます。ただし、加入合計金額が評価額を超えている場合、評価額までの支払いとなります。

◎ NOSAIは掛け捨てだから掛金もつたないのではありませんか？

◎ 保険や共済には、1年契約、長期契約、貯蓄型（積立掛金部分がある）契約などがあります。どの契約にも、掛け捨て部分（危険部分、事務費部分）があり、全ての掛金がありま。NOSAIの建物共済は積み立て部分を除いているため、掛金は低く設定されています。さらに、毎年、無事故の方には無事戻し金をお支払いしています。

お問い合わせは、最寄りの支所へご連絡ください。

新年のごあいさつ



香川県知事

浜田 恵造

農業経営の安定を

明けましておめでとうございます。皆様方には、農業の振興はもとより、県政の推進に格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。また、去年は、台風や夏季の長雨、日照不足などによる農作物被害を受けた農家の救済について、一方ならぬご尽力をいただき、心から感謝いたします。

農業・農業者を取り巻く環境が大きく変化する中、自然災害に対する農業経営のセーフティーネットである農業共済事業が果たす役割はますます重要になっています。

香川県では、農業の持続的な発展に向け、経営基盤の強化と安定化が図られるよう支援してまいりますので、皆様方には、今後とも農業災害補償制度を通じて、本県の農業振興に、より一層のお力添えをいただきますようお願いいたします。

新しい年を迎え、香川県農業共済組合のますますのご発展と、組合員の皆様のご健勝、ご多幸をお祈りいたします。



香川県農業共済組合長理事

上砂 正義

組合員との“きずな”より強く

明けましておめでとうございます。組合員皆様には、日頃からNOSAI事業に格別のご理解とご協力を賜っておりますこと、厚くお礼申し上げます。

近年、台風や局地的な集中豪雨、噴火、竜巻など、過去に経験したことがないような自然災害が多発しています。また、農作物価格の低迷、特に米価の大幅な下落は農家経営に大きな打撃となるなど、農業を取り巻く環境はますます厳しくなっています。

こうした中、NOSAIでは自然災害に対するセーフティーネットとしての役割を果たす一方で、新たに農家経営全体に着目した収入保険制度の導入に向けた調査事業にも取り組むなど、農家経営のさらなる安定に向け、尽力しているところです。

今後も、組合員皆様から信頼される組合を目指して、サービスの維持・向上に努めてまいりたいと考えておりますので、より一層のご理解、ご協力をお願い申し上げ、新年のごあいさつといたします。

本年もよろしく お願い申し上げます

代表
監事
参事

組合
副
理
事
長

富木好正	中西嘉弘	中山敏夫	藤井正和	合田由行	合田政光	松内敏男	小野正俊	横山正太郎	山内保弘	鉄川武夫	谷口義弘	杉尾眞澄	大林伸嘉	石井保洋	川井悟	熊本美文	石井義数	三好正和	宮本静夫	宮武正明	香西俊之	田中健次郎	吉田勲	田中孝博	宮崎仁	上砂正義
------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	-------	-----	------	-----	------

職員一同

各支所の連絡先》》》

東部支所	高松支所	小豆支所	中讃支所	仲多度支所	三豊支所
さぬき市大川町田面王子 1-2 TEL (0879) 43-4121	高松市三名町東原 5-6 TEL (087) 888-1146 0120-58-1148	土庄町大木戸沖甲 5165-169 TEL (0879) 62-0694	坂出市川津町金山 1825-4 TEL (0877) 46-1211	善通寺市与北町山下 110 TEL (0877) 62-5970	観音寺市本大町 1378-3 TEL (0875) 25-2482 0120-031-304

採用予定人員	若干名
採用予定日	平成27年4月1日
職務内容	一般事務及び事業推進
勤務地	県内事務所
応募資格	①昭和59年4月2日以降生まれで、大学を卒業した方（または平成27年3月末までに卒業見込みの方） ②パソコン操作（ワード、エクセル）ができる方 ③自動車普通免許（AT可）を有する方
応募方法	下記の書類を当組合本所総務部総務課宛てに郵送ください（当日消印有効） 提出書類は、結果にかかわらず返却いたしません ①履歴書 ②成績証明書、卒業（見込）証明書
応募締切	平成27年1月30日（金）
選考方法	一次選考（書類選考）、二次選考（筆記試験・面接） 二次選考実施日時、場所は追って本人宛てに通知。時期は2月中旬、場所は当組合会議室の予定
可否の通知	応募者全員に通知
給与雇用条件	給与：職員給与規則による（大学卒業初任給 平成26年4月実績 178,800円） 賞与：年2回 手当：通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当 社会保険等：健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険 就業時間：午前8時30分～午後5時（うち休憩1時間） 休日：土、日、祝祭日、年末年始
応募・問合せ先	〒761-8083 香川県高松市三名町字東原5番地6 香川県農業共済組合本所総務部総務課 電話／087-888-2121 FAX／087-888-3031 ※選考結果や選考評価に関するお問い合わせにはお応えできませんのでご了承ください。

職員を募集します

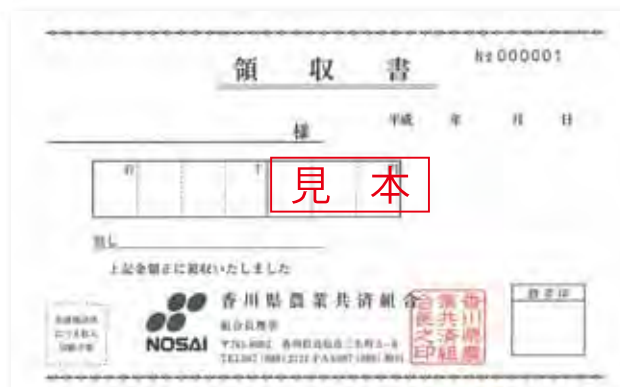
組合の主な予定

1月	
16日	損害評価会ぶどう共済部会 損害評価会なし共済部会
23日	第7回理事会
2月	
9日	損害評価会大豆共済部会
12日	損害評価会家畜共済部会 家畜診療所運営委員会
13日	損害評価会かき共済部会 損害評価会くり共済部会
16日	第4回余剰金運用管理委員会 第8回理事会
24日	損害評価会任意共済部会
27日	損害評価会園芸施設共済部会

コンプライアンス
共済掛金などの納入は口座振替で

NOSAIでは、コンプライアンス（法令遵守等）対策の一環として、現金の取り扱いによる事故の未然防止のために、共済掛金等の納入は口座振替をお願いしています。また、お支払いする共済金等は口座振込とさせていただきます。

やむを得ず現金で納入される場合は、連番



複写式領収書をお渡しいたします。また、現金納入についての確認を行いますのでご協力をお願いします。

[災害収入共済方式]	
●被害戸数	203戸
●被害面積	56,714.8a
●支払共済金	40,054,281円
●支払日	平成26年11月21日

平成26年産麦は、播種時期に降雨の日が多く、土壌条件の悪い耕地では発芽不良が発生し、収量が減少しました。出穂期以降は好天に恵まれ、順調に収穫作業が行われましたが、5月中旬の降雨で品質低下が見られました。

麦共済 播種期の降雨で収量減

NOSAI かがわ
からのお知らせ

研修会

知識向上のために

平成26年11月19日、高松市林町のサンメッセ香川で、共済部長協議会委員を対象に研修会を開催しました。約130人が出席。

研修では、中国四国農政局高松地域センターの小寺敏己氏、齋藤千草税理士事務所の齋藤千草氏を講師に招き、今後の米政策の見直しや、農家と税金について詳しい説明を受けました。

NOSAIでは随時、研修会を開催し、基礎組織員らの知識向上に役立てています。

米政策の見直し等について説明する小寺講師



農家と税金について説明する齋藤講師



熱心に耳を傾ける参加者

書写コンクール

実を結んだ日頃の鍛錬

平成26年10月18日、特賞、金賞受賞者24人の表彰式を組合事務所にて行いました。

審査委員の小森秀雲先生から「皆さんの作品は非常に美しく、子どもらしい生き生きさも加わった素晴らしい作品です。全国どこに出しても恥ずかしくありません」と講評いただきました。



慎重に筆を選ぶ



表彰を受ける特賞受賞者

表彰式終了後には、揮毫会を実施しました。入賞者は、応募課題を半紙1枚だけで仕上げるという制約の中、手慣れた筆遣いで作品を仕上げました。

輝く笑顔
さぬきひめ

 NOSAI KAGAWA 2015.January 9

つくってんまい!
たべてんまい!

うちのごはん

vol.

11

甘さ引き立つ ハクサイとリンゴ のサラダ



《ハクサイ》

寒さとともに甘味が増していきます。約 95%は水分ですが、ビタミンCや鉄、マグネシウム、カリウムなどを含み低カロリーです。免疫力を高める作用や風邪予防が期待できます。

材料(4人分)

●ハクサイ	3枚	A
●リンゴ	1/2個	
●ブロッコリー、干しぶどう	お好みで	
○マヨネーズ	大さじ2	
○オリーブオイル	小さじ2	
○酢	小さじ2	
○塩	小さじ1/4	
○こしょう	少々	



作り方

1



ハクサイは食べやすい大きさに細く切る。

2



リンゴは四つ割りにし、種などを取って薄く切る。

3



Aの材料を混ぜ合わせて1と2をあえる。器に盛り、干しぶどう、ゆでたブロッコリーを飾る。

生ハクサイの
軸部分は甘くて
おいしいです。



料理紹介 さめき市昭和

おかもと てるこ
岡本 テル子さん

イチゴ栽培を始めて14年目の丸亀市飯野町の豊嶋和夫さん(68)。現在、7連棟のハウス15で県特産イチゴ『さぬきひめ』を栽培しています。豊嶋さんは「今年は夏場の日照不足と、二度の大きな台風で苗の育ちが悪かったのですが、何とか持ち直しました。平年通りの甘くておいしいイチゴに育ちました」と話します。漢方薬やニンニクなどの有機肥料を使用したリ、害虫の天敵となる虫を利用したりと、減農薬栽培を追求しています。常に「なぜ」の気持ちで欠かさない豊嶋さん。先輩農家などに意見を聞いたり、本や新聞で情報収集したり、効率の良い方法を探しています。「今後は収穫量をもっと増やして、たくさんの方に食べていただきたいです」



【表紙のつづき】